



【直方市の大型事業】

直方市は、現在4つの大型事業を予定しており、進捗状況は以下の通りです。

《現在着手している事業》

- ①中泉中央市営住宅の建設
総事業費約39億2,000万円、平成34年度竣工予定です。
- ②直方中央公園の整備
総事業費約6億円、平成30年度工事完了予定です。
- ③し尿処理場の建て替え
総事業費約36億円、平成32年度完成予定です。
- ④小野牟田・野添線の新設
総事業費約12億円、街路事業から道路事業へ変更となり、工事完了時期は未定です。
- ⑤小中学校の施設整備事業
トイレ水洗化及び防災機能強化等を進めています。

《今後、実施予定の事業》

- ①小中学校の冷暖房整備事業
3～5年以内の整備を目指し、検討中です。
- ②公営住宅建替事業
必要性の高い住宅より、随時建替を検討していきます。
- ③直方市庁舎の改修事業
築26年が経過し、随所に老朽化が見られます。平成25年度に作成した庁舎長寿命化計画に基づき順次改修を進めています。
- ④芝原ポンプ場整備事業
築49年が経過し老朽化が著しいため、ポンプ場の改築や導排水路等の整備計画の見直しを検討し中心市街地の雨水対策を行います。

《今後、調査や検討が必要である事業》

- ①筑豊電鉄の延伸
筑豊電鉄延伸事業の可能性を調査しています。
- ②植木メカトロビジネスタウン事業
上頓野産業団地の企業誘致状況を勘案しながら、検討を進めていきます。
- ③小中一貫校の建設事業
国県補助金や市の財政状況等を勘案し、検討を進めていきます。



会議録検索 システムのご案内

直方市議会の会議録をどなたでも検索、閲覧することができます。



直方市議会・議場で交わされた発言の一言一句を会議録としてご覧頂けます。

詳しくは で

やすなが 浩之 ひろ ゆき 市議会議員事務所

〒822-0022 直方市古智1丁目6番1号
tel.0949-28-8087 fax.0949-28-8020

で



直方市出身。地元のために全力疾走！

直方市議会議員
やすなが 浩之 ひろ ゆき

市政レポート

平成29年1月号《政策進捗報告》

所属委員会及び会派

特別委員会『議会運営委員会』

議会を円滑に運営していくために、定例会や臨時会の運営方針やその他議会に関することについて協議し、意見調整を行う場として設置されている委員会です。副委員長として、議会運営の適宜改善に努めてまいります。

常任委員会『教育民生常任委員会』

市民部及び教育委員会の所管する事項について、担当する事務の調査や、議案・請願・陳情などの審査を行います。また、委員会より以下の委員に選出されています。

1. 直方市国民健康保険運営協議会委員
2. 直方市民生委員推薦会委員
3. 直方市高齢者保健福祉協議会委員

会派『静燃会』

高齢者福祉・地域活性化・教育問題と政策に共通項の多い「三根議員」と会派を結成しています。



福祉

《今後の介護保険事業》

平成 28 年 9 月議会において、直方市において平成 28 年 3 月から開始した「総合事業」や近年脚光を浴びている「地域包括ケアシステム」、地域の福祉を支援する「在宅介護支援センター」に関し、現在の状況及び今後の方向性を確認しました。

「総合事業」に関しては、今までにない直方市独自のサービス構築の検討を行っている段階であり未だ明確な内容は示されておりません。サービス構築の上でも、その実施に際しても必要となる人員の確保を要望致しました。

「地域包括ケアシステム」に関しては、県内最多の地域ケア会議実施回数や積極的な在宅医療・介護連携推進事業、認知症施策推進事業、生活支援体制整備事業の展開を行っており、活発な取り組みがなされています。当システムの最終的な目的の明示化やケアマネ以外の協議体組織設立を要望致しました。

「在宅介護支援センター」に関しては、現在、認定調査業務と相談支援業務が主な委託業務となっており、認定調査業務は件数ごとの委託費用、相談支援業務は件数に関係なく一定の年額と、委託内容に差異が生じています。それぞれの委託件数もかなりの格差がある状況です。より地域に根差した支援を行って頂くためにも、随意契約の是非も含めた今後の運営の在り方を再検討頂くことを要望致しました。

各項目に関し、検討を進めて行く旨の答弁を頂いております。しっかりと経過確認を行い、よりよい福祉行政の実現を目指します。



教育

《中学校完全給食の実現》

保護者の要望として最も高かった中学校完全給食が、いよいよ平成 29 年 2 学期より実施されることとなりました。詳細の内容は、市政レポート活動報告の記事をご参照ください。

《成人式の開催日変更》

直方市の成人式は、平成 11 年に創設されましたハッピーマンデー制度により、1 月の第 2 月曜日（成人の日）に開催していましたが、周辺自治体では、久しぶりに集う成人の方々のために、成人の前日の日曜日に成人式を開催されている自治体が多く、県内 47 市町村が日曜日に実施、10 市町村が成人の日に実施といった状況でした。

直方市の新成人からも日曜日開催を望む声が多かったことから、平成 28 年 6 月議会において成人式開催日の変更要望を行い、平成 28 年度（本年度）より、成人の前日の第 2 日曜日へと開催日変更となりました。

《幼稚園保育料の第 2 子以降無料化》

平成 28 年 4 月から、幼稚園保育料は第 2 子以降無料となっております。現在、国が法整備の上推進している幼稚園の新制度移行に向けて、新制度移行後の幼稚園に関しては保育園と同じく第 2 子以降無料とすることを平成 28 年 12 月議会にて要望致しました。

第 2 子以降無料も含め、できるだけ早く検討を行う旨の答弁を頂きました。



地域づくり

《商店リフォーム補助金の対象範囲を拡大》

平成 27 年度の直方市商店リフォーム補助金はアーケード内限定でしたが、アーケード外においても商業を営んでおられる方が多数おられることや、サンリブ閉店後の対策・直方駅周辺の対策という面においても対象を拡大することが必要であることを平成 28 年 3 月議会において訴え、平成 28 年度と同補助金の対象範囲を「直方市中心市街地エリア」へ拡大して頂きました。



《石炭記念館説明記録保存 DVD の販売》

館長の人物にスポットを当て、その語り等を記録した 60 分超えの DVD を作成し今後に繋げるといった目的で石炭記念館説明記録保存 DVD が作成されました。

数枚の DVD を作成し文化施設や学校等に配るといった方向性でしたが、更なる活用のために、記念館の運営費用や救護訓練坑道の補修費用を補うことを目的として DVD 販売を行うことを平成 28 年 9 月議会において提案し、販売を含めた活用を考えるとの答えを頂きました。



防災

《火災警報器の設置推進》

総務省消防庁の統計を見てみると、平成 27 年 1 月から 6 月における火災の概要において、建物火災における死者の発生状況のうち、約半数、47.5%の方々が、逃げおくれが原因で亡くなっており、年齢別では、全体の 67%が 65 歳以上の方であり、総じてみると、高齢者の方々の逃げおくれが火災による死亡の主な原因となっていることがわかります。これを防ぐために最も有効な対策は、住宅用火災警報器（以下、住警器とします）の設置であると思われます。

直方市においても、平成 21 年 6 月 1 日までに寝室及び階段室への設置を義務とし、台所への設置を推奨すると条例制定されておりますが、行政に強制力がなく設置が進んでいないことも事実です。また、住警器の大半を占める煙式感知器は耐用年数が 10 年前後となっているものが多く、消防法の改正により住警器設置が義務化された平成 18 年 6 月 1 日直後に取り付けられた火災警報器はそろそろ耐用年数を迎え、点検及び交換が必要な時期となっています。

設置推進の啓発活動を更に進めることを、平成 28 年 3 月議会において要望し、現行の啓発活動に加えて、市内の住警器取り扱い業者を掲載したより分かりやすいチラシを、6 月 1 日号の「市報のおがた」に折り込んで頂きました。

火災からあなたの大切な家族やご自身の命を守るために、住宅用火災警報器を早期に設置しましょう。

